

一次の文章を読んで、後の(一)から(六)の問いに答えなさい。

【本文省略】(齋藤孝『語彙力こそが教養である』による)

(一) 空欄 A・B にあてはまる最も適当なことを書きなさい。

(二) 空欄 C・D に入る色として最も適当なものを、次のアからウまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 透明 イ エンジ ウ 黒 エ グレー
オ 赤 カ 青 キ イエロー ク オレンジ

(三) ① 端的に、^③ 往々にして、^② の言葉の意味として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 言葉のはしばしに イ 手短にはつきりと
ウ 表面的に エ 強調して

^③ 往々にして

- ア 物事がしばしばあるさま
イ 良い事がしょっちゅうあること
ウ 偶然性が高く頻度が低いさま
エ 予想していたよりも多くものごとが起こること

(四) ② 答えは「否」です とあるが、その理由として最も適当なものを、

次のアからオまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 若者言葉を世の常識のように使ってくる若い衆を注意するのが上司の役目だから。

イ 若者と価値観をすり合わせ共有することはとてつもない労力であり、不可能だから。

ウ 若者言葉はすぐに活用できる言葉なので多用していると思考力の低下が起こるから。

エ 若者言葉にすり寄るのはみっともないことであり、「若作りしている痛い大人に見える」から。

オ 若者は古めかしい言い回しを上司から教えてもらいたいという願望を潜在的に持っているから。

(四) 次の文は、本文中のどの段落について述べたものか。段落符号で答えなさい。

社会人経験のある者にとって、若者言葉は学ぶことがある側面も持っているのだということ述べている。

(六) 筆者は文章中で、若者言葉とどう向き合うのがよいと述べているか。

七十字以上一〇〇字以内で書きなさい。ただし、「得意げに」、「テレビ」、「忠言」という三つのことばを使って、「若者言葉は……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点や「」も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

・初めの「若者言葉は」は字数に入らない。

二 次の文章を読んで、後の(一)から(五)の問いに答えなさい。

まほろ市は東京の外れにある街である。その駅前が多田啓介は一人で便利屋を営んでいる。ある依頼人よってチワワの世話を依頼されたが、その後、多田は別の依頼によってチワワを連れて仕事に行かざるを得なくなる。一仕事を終えた多田は、チワワがいらないことに気付く。

【本文省略】(三浦しをん『まほろ駅前多田便利軒』による)

(一) 〰線部 a から e の漢字にはひらがなで読みを書き、カタカナには漢字を書きなさい。

(二) 空欄 X に当てはまる言葉として最も適当なものを、次のアから

エまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア あこぎに イ ひそかに

ウ かたくなに エ ぞんざいに

(三) 「右腕はチワワを抱えたままだ。」の一文が本文から抜いてある。こ

の一文が入る最も適当な箇所を、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 本文中の〈1〉 イ 本文中の〈2〉

ウ 本文中の〈3〉 エ 本文中の〈4〉

(四) ① 教室は大パニックに陥った とあるが、教室のパニックに対して対

照的に描かれているのは何か。本文中から十二字で抜き出して答えなさい。

(五) ② 多田は背後から聞こえる鼻歌を、極力気にしないよう努めた とあ

るが、その時と同じような気持ちが表れている多田の行動を六字で抜き出して答えなさい。

三 次の古文を読んで、後の(一)から(四)の問いに答えなさい。

〔本文にいたるまでのあらすじ〕

愛宕山の聖のもとを訪れた獵師が、夜ごとに普賢菩薩が現れると聞いて泊まると、夜中過ぎごろ、話のとおり普賢菩薩が現れた。次の文章はこれに続く場面である。

〔本文〕

聖、泣く泣く拝みて、「いかに、ぬし殿は拝み奉るや」と言ひければ、
「いかがは。この童も拝み奉る。おいおい、いみじう貴し」とて、獵師思ふやう、聖は、年ごろ経をも保ち、読みたまへばこそ、その目ばかりに見えたまはめ、この童、わが身などは、経の向きたる方も知らぬに、
見えたまへるは、心は得られぬことなりと、心のうちに思ひて、このことと試みてん。これ、罪得べきことにあらずと思ひて、とがり矢を、弓につがひて、聖の拝み入りたる上より、さし越して、弓を強く引きて、ひやうと射たりければ、御胸のほどに当たるやうにて、火をうち消つごとくにて、光も失せぬ。谷へとどろめきて、逃げ行く音す。聖、「これはいかにしたまへるぞ」と言ひて、泣き感ふこと限りなし。男申しけるは、「聖の目にこそ見えたまはめ。わが罪深き者の目に見えたまへば、試み奉らんと思ひて射つるなり。まことの仏ならば、よも矢射立ちたまはじ。」
③ されば、あやしきものなり」と言ひけり。夜明けて、血をとめて行き見てければ、一町ばかり行きて、谷の底に、大きな狸、胸よりとがり矢を射通されて、死して伏せりけり。

聖なれど、無知なれば、かやうに化かされけるなり。獵師なれども、慮あ

りければ、狸を射殺し、その化けをあらはしけるなり。

(『宇治拾遺物語』による)

(注) ○いかに、ぬし殿は拝み奉るや〓どうですか、あなたは拝み申し上げましたか

○いかがは〓どうして拝み申し上げないことがありますでしょうか

○この童〓聖が使う少年

○おいおい、いみじう貴し〓はいはい、とても貴いことです

○血をとめて〓血の跡を尋ねて

(一) ① 思ふやうとあるが、獵師はどのようなことを思ったのか。次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 聖は若い頃から経を読んでいるので普賢菩薩が見えるのは当然だが、経を読まない私が見えるのは幸運なことだ。

イ 聖やこの少年は信心深く、殺生をしないので普賢菩薩が現れるのは当然だが、多くの動物を殺してきた私の前に普賢菩薩が現れるのはおかしい。

ウ 聖は長年、経を読んできたので普賢菩薩が見えるのだろうけれど、この少年や私などは経の向いている方向さえわからないのに普賢菩薩が見えるのは納得できない。

エ 納得できない点はあるが、普賢菩薩が見えるはずないと思うことは仏の道に背くことになり罪を得ることなので今は無心で拝もう。

(二) ② このこと が指す内容を本文中の~~~~線部アからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

(三) ③ されば、あやしきものなり の「さ」はどのようなことを指しているか。次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 光が消えないこと

イ 逃げていく音がしたこと

ウ 矢が当たらないこと

エ 矢が当たったこと

(四) この話の教訓として最も適当なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 本当の知性がなければだまされ、何の学もない者でも思慮があればだまされないということ。

イ なにごとも熱心に取り組めば、めったにない良い経験ができるということ。

ウ 一つのことにとらわれると真実を見抜く力が弱まるので、ものごとを多角的に考えるのが重要だということ。

エ なにごとも疑ってみないと正直者はだまされるので、ある程度の警戒心は必要だということ。